

○八百津町第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編) 令和6年度結果報告

【1. 分類別エネルギー使用量】

分類別	単位	基準年度 令和4年度	対象年度 令和6年度	比較増減		
				使用量	増減率	
電気の使用	kWh	2,476,811	2,473,266	-3,545	-0.1%	
燃料の使用	灯油	L	56,229	54,993	-1,236	-2.2%
	ガソリン	L	33,589	35,965	2,376	+7.1%
	軽油	L	7,914	8,473	559	+7.1%
	A重油	L	14,000	19,000	5,000	+35.7%
	LNG(液化天然ガス)	kg	-	-	-	-
	LPG(液化石油ガス)	kg	15,819	13,413	-2,406	-15.2%

※端数処理のため数値が一致しない場合があります。

【2. 分類別温室効果ガス排出量】

分類別		基準年度 令和4年度	対象年度 令和6年度	比較増減		
				排出量	増減率	
		kg-CO2	kg-CO2	kg-CO2	%	
施設	電気の使用	837,943	1,039,022	201,080	+24.0%	
	燃料の使用	灯油	140,851	138,324	-2,526	-1.8%
		ガソリン	1,055	1,401	346	+32.8%
		軽油	222	199	-23	-10.3%
		A重油	37,940	52,250	14,310	+37.7%
		LNG(液化天然ガス)	-	-	-	-
LPG(液化石油ガス)	47,457	40,104	-7,353	-15.5%		
公用車	電気の使用	-	1,408	1,408	-	
	燃料の使用	ガソリン	79,795	83,866	4,071	+5.1%
		軽油	20,372	22,174	1,802	+8.8%
	カーエアコンの使用	658	663	5	+0.8%	
下水処理場での下水等の処理		5,108	4,873	-236	-4.6%	
計		1,171,400	1,384,285	212,885	+18.2%	

※端数処理のため数値が一致しない場合があります。

【3. 令和12年度排出量(目標値)との比較】

令和12年度総排出量(目標値)	令和6年度総排出量(実測値)	目標値までの削減量
961,785kg-CO2	1,384,285kg-CO2	422,500kg-CO2

【4. 令和6年度における温室効果ガスの排出状況について】

令和6年度の八百津町の公共施設における温室効果ガスの排出量は、基準年度(令和4年度)の排出量1,171,400kg-CO2に対し、1,384,285kg-CO2となり18.2%の増加となりました。増加の要因として最も大きな影響を与えているのが電気の使用による排出であり、電力調達先の電気事業者のCO2排出係数(電気1kwhあたりのCO2排出量)が令和4年度の0.311~0.408に対し令和6年度では0.419~0.432に上がっていることが、温室効果ガスの排出量増加の要因となりました。また、コロナ禍が落ち着いたことでイベントや出張の増加に伴い公共施設や公用車の利用頻度が増え、A重油やガソリンの使用量が増えたことも排出量増加の要因となりました。なお、電気の使用量については施設の利用頻度が増加しているなか、空調設備等更新による省エネ化や、職員の節電意識により削減することができました。また、LPGについてはガス給湯器から温室効果ガス排出量の少ない電気給湯器へ更新することで、使用量を削減することができました。

【5. 目標達成のための対策】

温室効果ガス排出量において、電気による排出が全体の75%を占めており大きく影響しています。そのため空調設備等の更新時の省エネ化や照明のLED化により使用量の削減を図るほか、電力調達の際にCO2ゼロプラン(再生可能エネルギー由来の電力を使用することでCO2排出係数が0となるプラン)を導入することで、電気による温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいきます。